

VI 池袋サテライトキャンパス

淑徳大学池袋サテライト・キャンパスのエクステンションセンターでは、大学の社会的責任（CSR）、および大学を取り巻く全ての顧客への満足（CS）に即しつつ、エクステンション活動の総体としての公開講座による教育機会の提供と学部・学科の新しい展開および大学の広報・宣伝を目的とした事業を行っています。

1 社会貢献活動

・公開講座

池袋サテライト・キャンパスでの公開講座は、大学の建学の精神に基づき、平成16年度より、各キャンパス等の持つ「知的資源を地域社会へ開放する」ことを目的とし、生涯学習の一環としての「新たな学びの場」を提供しています。

平成23年度は千葉キャンパスの総合福祉学部と大学院総合福祉研究科、同大学院附属心理臨床センター、大学附属社会福祉研究所発達臨床研究センター、および看護学部、埼玉みずほ台キャンパスの国際コミュニケーション学部と大学院国際経営・文化研究科、ならびに淑徳短期大学等の協力による講座、また地方公共団体との共同事業として、豊島区、豊島区社会福祉協議会、板橋区教育委員会、埼玉県富士見市教育委員会および入間郡三芳町教育委員会、千葉市および千葉市教育委員会等との共催・後援による特別講座を開催しました。また、外部の国際協力機構、日本ペンクラブ、ドラッカー学会、月刊江戸楽等との共催講座を開催しました。

その他、本学および本学園の専任・非常勤教員、ならびに学外の浄土宗研究所・アドベンチャー・コーチング(株)等関係諸団体からの講師の方々の協力により、宗教・歴史・文学・文化、ビジネス、教養・趣味・スキルアップ、語学、資格支援等の領域において各種講座を開催することができました。

開講講座数は、前期227（前年度200）講座・後期266（前年度226）講座の計493（前年度426）講座、受講者数は前期2,407（前年度2,082）人・後期2,156（前年度3,740）人の計4,563（前年度5,822）人、延べ受講者数は前期11,419（前年度10,510）人・後期9,491（前年度11,369）人の計20,910（前年度21,879）人でした。受講者数および延べ受講者数の減少は、無料講座を少なくしたことによります。その結果収入は増加しています。詳細は（『大学基礎データ等』付表4）2011（平成23）年度淑徳大学エクステンションセンター公開講座等一覧を参照のこと。